

# 本機の特長と楽しみかた

## 本機の特長

- **地上デジタル\*1、BSデジタル、110度CSデジタル放送に対応**  
3つのデジタル放送を高画質・高音質に楽しむ。  
※1：12セグメントと1セグメント放送(将来、機能向上で対応)に対応。(P.17、80ページ)
- **ホーム/おでかけモード(地上デジタル放送)**  
いつも見ている番組がおでかけ先でも、いつもと同じチャンネルで視聴できます。  
(P.24～27ページ)
- **本格的5.1chサラウンドシステムに対応**  
システムアップ\*2で各デジタル放送でのAAC5.1chサラウンドに対応。  
(P.38、39ページ)  
※2：別売のカーナビゲーションシステムやサラウンドスピーカーシステムが必要です。

## デジタル放送を楽しむ

(P.44～53ページ)

### B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。(P.18ページ)

デジタル放送は、従来の地上アナログ放送(VHF、UHF)やBSアナログ放送と違い、映像や音声をデジタル化することで、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。

- 本機は、地上・BS・110度CSデジタルチューナーです。  
地上デジタルアンテナや衛星デジタルアンテナ(BS・110度CSデジタル対応)を接続してからテレビやモニターに接続すれば、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送が視聴できます。
- 車のエンジンを切り、ACC電源を「オフ」にすると、本機の電源は切れます。また、車の場所、方向などにより受信状態が悪くなる場合があります。そのため、BSデジタル、110度CSデジタルの有料放送を契約したにもかかわらず、速やかに受信できない、契約の更新が行われない場合があります。  
有料放送などの契約をお申し込みされる場合、しばらくの間電源を入れ、その契約チャンネルで放送を受信しておく必要があります。  
他の無料放送が受信できるのに、契約した有料放送だけが受信できない場合は、契約をした放送事業者または松下電器のお客様ご相談窓口へ「車で使用している」旨を伝えてお問い合わせください。
- 本機は、ペーパービュー(PPV)放送には対応をしていません。

## 地上デジタル

- UHF帯の電波を使って行う放送で、関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは当初限定されていますが、順次拡大される予定です。高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。(2005年4月現在)

## BSデジタル


- 放送衛星ブロードキャスティング・サテライト(Broadcasting Satellite)を使って行う放送でハイビジョン放送やデータ放送が特長です。  
BS日テレ、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。WOWOWなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。

## 110度CSデジタル

- 通信衛星コミュニケーションズ・サテライト(Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
- 110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！110」への加入申し込みと契約が必要です。「スカパー！110」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

## 番組表を使う

(P.46、47ページ)

- データ放送**  
本機の画面の説明に従い操作すると、関連するデータを表示できる番組があります。  
例えば、BS101を視聴中にリモコンの (P.48ページ)を押すと、NHKデータ放送で送られている天気予報がご覧になれます。(2005年4月現在)  
尚、本機には電話通信機能が無いため、双方向データサービスに対応していません。

本機の画面上に番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。(最大8日分)

- 番組表から今、放送中の番組の選局ができます。
- 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送、衛星デジタルの番組情報は衛星デジタル放送と一緒に送られています。